

第42回 山形県学童保育研究集会 ~今こそつながろう! 学童保育で、子育ての輪!!~

2021年11月28日(日)13:30開会/16:30終了
Zoomによるオンライン開催

研究集会は学童保育に携わる人が、学びを深めるとともに、情報を共有し、意見を交流する場です。又、研究集会で確認した課題を地域での課題として、取り組んでいくことが大切です。本日はコロナ禍であっても、つながりの大切さをそれぞれの立場から伝え合い、さらによりよい学童保育を目指し、一緒に考えていきましょう。
参加人数: 360名 (11月1日現在)



お知らせ

山形県学童保育連絡協議会の ホームページを開設しました!

山形県の学童保育に関する情報をより手軽にご覧いただけるようになります。

現在の閲覧内容

- ▶ 山形県学童保育研究集会の案内、申込書
- ▶ 県連協NEWS
- ▶ “日本の学童ほいく誌”の案内
- ▶ “カフェHOIKUSHI ござ〜れ”の案内
・・・など

※その他、内容を随時更新していく予定です。

↓アクセスはこちら↓

URLを直接入力するか、QRコードを読み取ってアクセスしてください。

<http://ykenrengakudou.tobihiro.jp/>





— 令和3年度の事業活動—県内各連絡協議会の取り組み—

※市独自の補助、連協として力を入れていること（学習、地域との連携、施設等について）

山形市学童保育連絡協議会

山形市は、今年度より軽減補助金多子世帯分について、市独自で対象となる世帯の市民税所得割額の合計が169,000円から301,000円に緩和し、多くの多子世帯が補助金の対象となりました。これは、市連協が数年にわたり要望してきたことが実現したものです。また、国の補助制度の活用について年度初めより市担当課と情報を共有しながら働きかけ続けた結果、ICT化推進補助事業と新型コロナウイルス感染症対策備品等整備補助事業について6月議会で議決され、予算化されることに繋がりました。現在、「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」についても山形市で予算化してもらえるよう働きかけています。また、施設整備についても山形市が学童保育に相応しい施設を整備するよう要望しています。

東根市学童保育連絡協議会

市と「放課後児童支援員等研修事業業務委託契約」を結び、外部講師による研修を実施している（キャリアアップ処遇改善に必要な研修）。

月1回、子育て健康課招集の「学童保育所連絡会議」があり市担当者と全学童の代表支援員が制度や学童の状況について情報を共有している。会議後の市連協事務局会議では各担当からの報告をもとに協議し、研修等事業の最終決定や各種取りまとめをしている。

鶴岡市学童保育連絡協議会

- 「鶴岡市と情報交換会」を開催 9月17日
昨年の「鶴岡市との話し合い」で鶴岡市から「今後はもっと情報交換をしていきましょう」と提案があり、実施しました。各学童の状況を互いに知る良い機会となりました。
- 「鶴岡市との話し合い」を開催 10月19日
子育て推進課、学校教育課より参加していただき、「令和4年度の要望書」について意見交換をしました。
- 新任指導員研修会を開催予定 11月30日

村山市学童保育連絡協議会

- 行政との連携
新型コロナウイルス感染症対策の会議を重ね、状況や課題について情報交換を行い、開所や対応の見直しを行いました。
また、保護者宛に担当課と市連協連盟の文書を発行しました。
- 学習会の開催
現任研修8回 新人研修2回
※支援員等研修業務を受託 20万円補助
- おやつレシピ集No.9発行

天童市学童保育連絡協議会

市内、全12小学校、学童保育所数 29カ所
入所率40%、高い入所率に対応するため、施設を市が計画的に整備しています。

市独自の補助としては、市連協に対し150万円/年これは各学童保育所の「運営の改善」と「保育の質の向上」に市連協総力で取り組んでいることへの市の支援と受け止めています。

現在、市連協では令和5年度から市内統一運営を実現しようと準備を進めています。天童市の学童保育の良いところ（「子どもは地域の宝」を実現）を継承しつつ、より公共的で安定的な運営をめざしています。

米沢市学童保育連絡協議会

- 指導員会（月2回予定）/ 講師を依頼して感染症やアレルギー、障がい児などについての話を聞いたり、テーマを決めてフリートークを行ったりして年間通して活動しています。
- 指導員代表者会（月1回）/ 保育現場での問題などについて情報共有をしています。
- 役員会（月1回）
- 広報紙の発行（年3回）
- 市へ要望書提出
- 市長、教育長へ各クラブの現状報告と要望書提出
- 市長、教育長との懇談会（年1回）
- 市担当課との懇談会（年1回）

第46回全国学童保育指導員学校 東北会場(オンライン開催)報告

2021年9月19日(日) 10:30~16:15

参加者：975名(県内：381名) 全国各会場の中で最多人数となりました。

参加者アンケートより、一部抜粋して紹介します

全体講義「学童保育の生活づくり・指導員の仕事」講師：山川美江子氏

米沢市・指導員

指導員として行ってきた数々の運動に驚きました。行動するということが私には敷居が高いと思っていましたが、こんなにも変えていけるのであれば行動「運動」はとても重要なことだとあらためて思いました。その運動が指導員の仕事につながると信じ、親にも子どもにとっても安心できる学童保育所になれるよう精進していきます。

山形市・保護者

基本的なお話を中心でしたが、その基本が一番難しく、定期的な学び直しと実践が非常に重要であると感じました。取り組み、学び直し、取り組み。クラブを超えて研修できる良い機会と感じました。

講座「保護者といっしょに子育てを」

講師：高木直氏

酒田市・指導員

プロとしての自覚を持つということで「どういう視点で保育しているのか、だからこういう活動しているのだ」という保育内容を開示することや、信頼感や連帯感につながるということが印象に残った。年間計画や日頃の活動の様子を伝える際の伝え方等にも工夫しながら改善していきたい部分である。

東根市・指導員

とても分かりやすく学童の良さを丁寧に教えていただいた気がします。「学童への恩返し」という素敵なフレーズに今までの関わってくださったすべての保護者に感謝の気持ちでいっぱいになりました。もっと専門性を高め、私も学童保育に恩返しができるように頑張りたいと思います。

講座「子どもの心の理解とケア」

講師：足立智昭氏

鶴岡市・指導員

子どものストレスを受け止めてあげる。感情を見極め、怒りを抑え込むのではなく時間(怒り)を短くする、安心感を与えるなど。いざという時に、このことを思い出せるようにしていきたいと思います。

天童市・指導員

子どもの背景に何があるのか、丁寧な解説でとても分かりやすかった。自分自身との対話をして子どもと正しく向き合わなければと思った。子どもが表すことは、本当の気持ちとは別にあることを理解して、気持ちを決めつけずに受け止めてあげることが目標にしたい。

東根市・指導員

大人から見て子どもの行動が完ぺきではなかったとしても、「ありがとう」「よくやったね」「助かるよ」等の感謝の言葉を伝えることによって、子どもの自己肯定感や自尊心を育むことにつながると聞き、声掛けなどにも気を付けようと思います。

オンライン配信担当

コロナ禍によるオンライン研修の増加に伴い、県内でのオンライン体制の充実、Zoomした研修の開催方法などを検討している中で、指導員学校の配信は大変貴重な経験となった。

当日の大人数の参加を考慮し、まず宮城主催のZoomな利用方法、主催側としてのZoom等の講習を受けた。その後の打ち合わせにて、当日の配信設備の確認、役割分担、実地での確認を行った。当日は講師の先生方とどのように研修を行っていくかを確認・調整しながら配信。多少のトラブルはあったが、研修はスムーズに進んだと感じる。今後の課題として、研修を実施できる人の幅を増やす必要がある。県内でもオンライン研修を行うための研修が必要。

天童南部第六学童保育所指導員：高橋尚希
東根市東郷学童クラブ指導員：滝口亜由美

オンライン入室管理担当

今回は山形県内の参加者の入室管理を担当しました。事前の練習会の効果もあり、ほとんどの方が指定通りの表示名だったためスムーズに入室管理が出来ましたが、まだ表示名の変更やネット環境についてなど不安を感じている方もいらっしゃるようでした。今後も安心してオンライン研修に参加していただくため、練習会を続けていくことの大切さを感じました。

山形市第三こまくさ子どもクラブ指導員：増川泰子
山形市第2滝山こどもクラブ指導員：小林紗季

もっと読者を増やし

学童保育をよくしていこう！！

月刊 日本の学童ほいく
全国で毎月 34000 部発行されている
学童保育唯一の専門誌

月刊『日本の学童ほいく』は…

- ★読者である保護者と指導員が自ら書き手となり学童保育の充実の願いをこめてつくられています。
- ☆子育てに役立つ！働きながらの子育てを応援しています！
- ★指導員の実践に役立つ教科書です！
- ☆子どもたちも楽しく読み、学びます。

◆ほいく誌を読む会「カフェ HOIKUSHI ござ〜れ」◆ 参加してみませんか！

7月から月1回で、ほいく誌を読む会をオンラインで開催しています。
毎号の特集をトークテーマに読み合わせ、内容を読み深めたり、心に残った内容をざっくばらんに語り合っています。

10月からは
“毎月第3水曜日”に
定例で開催して
います！！

—参加者の感想—

7月と9月に参加し、市外のクラブの方や県連協の方と交流することができ、ほいく誌に関わっている方々の思いや参加された各クラブの情報交流もできて貴重な時間を過ごせました。
これからも1冊1冊大切に読んでいきたいと思えます。
米沢市 学童保育所しゃぼん玉クラブ 井上 美奈子

改めてほいく誌を読む時間を取ることで、自分の考えを見つめ直す時間が持てたように感じます。特に杉田真衣先生の記事は興味深く読ませていただきました。今の子どもたちの未来の姿かもしれないと思いながら、様々な問題に直面する学生たちの話はとても心に残りました。全国研では先生の話聞く機会もあり、とても楽しみにしているところです。
また、他の先生方の熱い語りを聞くだけで、とても価値ある交流会だと思います。子どもたちへの視点や支援員としての想い、悩んでいることの違い、様々なことを共有することで自分の保育観も開け日々の保育につながっていくと思えます。これからは支援員だけでなく、保護者や運営委員、行政の方などにも参加して頂きながら、いろいろな視点から『学童保育』を掘り下げ、子どもたちの未来につながる話をできればと思います。
天童市 天童南部第六学童保育所 高橋 尚希

経験豊かな先生方が参加しているござ〜れに、私のような1年未満の指導員が参加してもいいのだろうかかと不安に思いながら参加させて頂いております。難しいこともありますが、何度も読み返して理解できるよう勉強して行きたいと思えます。
村山市 さんさんキッズクラブ 遠藤 麻里

山形県内では、毎月 2000 人以上が購読しています。(保護者・指導員の購読率 13%)

●県連協では

- ・「全学童保育(所)で1冊以上購読」
- ・「指導員全員購読」

という普及拡大の目標を掲げ取り組んでいます。

ほいく誌の魅力を確認し 購読拡大をめざして！

◆2021年度

第1回ほいく誌普及拡大大会議◆

8月26日(木)に県内各地域のほいく誌担当者のオンライン会議も行いました。

今回は、日本の学童ほいく編集部の大前さん・土田さんから「ほいく誌の魅力」と「編集で大切にしていること」のお話をお聞きし、全国連協のほいく誌の重要性と魅力を学びました。

そして、県内の購読状況と各地域の活動を交流し、学童保育関係者が一人でも多くほいく誌を購読してもらえるよう、ほいく誌の内容を伝えながら購読拡大に取り組んでいきます。

まだまだ、ほいく誌を知らない関係者がたくさんいます。ぜひみなさんで購読者を増やし、学童保育の理解を広げて学童保育を良くしていきましょう！

=次回「カフェ HOIKUSHI ござ〜れ」のお知らせ=

11月17日(水) AM 10:00~オンライン

5回目となる11月号の特集テーマは…

『たのしく食べるおいしく食べる♪

~学童保育のおやつ・食~』です。

参加の皆さんとおやつの大切さやクラブでこんなおやつが出ているよ！など語り合いたいですのでぜひご参加ください。

☆指導員の研修にも活用

できる専門誌です☆

バックナンバーの取り寄せ・購読申し込み・ござ〜れの問い合わせは、山形県学童保育連絡協議会へご連絡ください。

TEL : 023 (674) 9782

Mail : yamagata-kenren@bz04.